

CHERRY BLOSSOM

桜の花をテーマにした和テイストのグラフィックを効果的に使いこなし
東京発のスニーカーシーンを表現した改めて評価すべき1足

世界のスニーカーシーンでAIR MAX 95の絶対的なアイコンカラーが「イエローグラデ」である以上、復刻モデルのバリエーションでもイエローグラデを連想させるカラーウェイに話題が集中するのは当然のこと。サイドパネルにグレー系のグラデーションを落とし込んだモデルは、発売される度に好評なセールスを記録している。それでもオリジナルカラーとは異なるデザインアプローチを採用し、目の肥えたファンから高く評価された復刻モデルが少なからず存在している事実もご存知の通り。例えばデザイン誕生25周年を記念して企画され、桜と東京をモチーフにした「CHERRY BLOSSOM」は、それまで誰も見たことがなかったAIR MAX 95だった。イエローグラデのように即売するワケでもなく、小まめのサイズは後日にアウトレットでも販売されていた。ただ需要の高い27cm前後のゴールデンサイズは早々に完売。筆者のように「サイズがあるうちに買っておけば良かった」と、後になって後悔したファンも居たに違いない。

AIR MAX 95「CHERRY BLOSSOM」のミッドソールは、ブラックをベースに明るいトーンのスペckル柄を散らしている。その見た目が星空のように見えることから、この1足を「夜桜」と呼ぶファンも居るようだ。シューレース周りのアンダーグレイには桜を模し、リップストップ生地状の半透明素材をオーバーレイ。サイドパネルにはデジタルカモフラージュ調に処理した桜のグラフィックを落とし込み、表面にレンズのような加工を施したツヤ感のある素材を重ねている。さらにアウトソールのシャンクパーツには「東京」のロゴと都市コード「03」を置いて、デザインのツールが東京のストリートシーンにあると主張しているのだ。筆者の記憶が確かならば、スニーカーデザインにデジタル調のカモフラージュ柄をセレクトしたのは日本のヒップホップグループ「NITRO MICROPHONE UNDERGROUND」だったはず。デジカモは日本のストリートカルチャーと縁が深いアイコンというバックストーリーも、このAIR MAX 95が醸し出す和のテイストを後押しする。



AIR MAX 95 PREMIUM

▶ Release year : 2020
▶ Style code : CU4073-076
▶ 資料提供 : naka2sneakers



PINK BLAST

インサイド側の鮮やかなピンクが他には無い個性を醸し出す
2019年にリリースされたAIR MAX 95 OGのバリエーション

鮮やかなピンクとブラックで構成されたコントラストが映える。2019年発売のバリエーションカラー。そのニックネームはBOXのカラー表記に由来する。サイドパネルのインサイドとアウトサイドで全く異なるルックに仕立てた1足で、ベースとは異なるカラーのステッチ糸を使用した演出が効果的なアクセントだ。

AIR MAX 95 OG

▶ Release year : 2019
▶ Style code : CU1930-666
▶ 資料提供 : letson7739



FLORAL CAMO

タフネスなルックスに仕立てたアーミー調のアッパーに
デジタル処理した花柄を落とし込んだ2018年発売のレディースモデル

ベースカラーのアーミーグリーンにデジタル処理したフローラルパターンを組み合わせ、迷彩柄のニュアンスを醸し出したWMNSカラーのバリエーション。その見た目から「FLORAL CAMO」と呼ばれている。シューランゴのアウトラインにピンクを落とし込み、インソールにもデジカモ柄がプリントされている。

WMNS AIR MAX 95

▶ Release year : 2018
▶ Style code : AQ6385-200
▶ ライター: 弘

